

平成21年度決算は、9月10日に決算特別委員会（議長と監査委員を除く12名）を開会し、11会計を審査しました。

9月17日の本会議で、反対・賛成討論の後、採決の結果、賛成多数で認定しました。



青木彰榮 委員長



町長不在の決算審査状況

平成21年度各会計決算額表				
会計項目	歳入（町の収入）	歳出（町の支出）		
一般会計	82億1,249万円	77億8,880万円		
特別会計	十王財産区	105万円	19万円	
	下水道	10億5,880万円	10億4,128万円	
	国民健康保険	16億9,846万円	15億6,468万円	
	老人保健	1,764万円	1,499万円	
	農業集落排水	1億1,241万円	1億 756万円	
	介護保険	13億6,798万円	13億4,199万円	
	後期高齢者医療	1億4,036万円	1億3,816万円	
企業会計	水道	収益的収支	3億2,170万円	2億7,149万円
		資本的収支	6,014万円	2億2,149万円
	病院	収益的収支	11億5,993万円	11億6,108万円
		資本的収支	3,477万円	1億2,835万円
	訪問看護	収益的収支	3,105万円	2,775万円
合計	142億1,682万円	138億 779万円		

※万円未満は端数を整理しています。

賛成

# 討論

反対

## 賛成討論

守谷丹吾 議員

21年度は、経済不況に対する臨時財政対策債を加えた地方交付税の増額や国の経済危機対策臨時交付金などによる財源確保ができたことにより、歳入として総額82億円を確保することができました。この限られた財源の中で、人件費を含む経常的経費の削減努力に加え、町内の景気・雇用対策や生活の安定、そして住民サービスの向上にも積極的に対応したと考えます。

多くの事業を行ったが、財政の健全化において、将来に向けて行財政運営を確保するため、財政調整基金や減債基金に積戻しや積増しを行ったことは重要なことだと感じます。

起債残高も前年度と比べて5億5千万円ほど減少し、約83億円になりました。

今後は、町や町民のために、起債や基金を有効に利用していく必要があります。

賛成議員（11人）  
五十嵐政司議員  
菅 祐二議員  
岡田 明議員  
青木彰榮議員  
加藤秀人議員  
今野正明議員  
遠藤幸一議員  
守谷丹吾議員  
関千鶴子議員  
菅原隆男議員  
佐藤京一議員

## 反対討論

佐竹典明 議員

21年度はリストラの嵐が吹き荒れ、国の経済対策として本町へ4億円あまりの交付金が入りました。

問題の一つは、地区公民館の臨時嘱託職員2名体制についてです。週30時間の勤務体制で社会教育づくりの事業はこなせません。職員体制の充実こそ必要です。

一つは、特別会計も含め、各種料金、利用料に転嫁の必要のない消費税を課すべきではありません。

一つは、国の農政への不手際から米価下落が続ぎ、米作りが困難になっていることです。

一つは、タナカ牧場の悪臭問題は依然として目途がたっていないです。

一つは、文化交流センターの使い勝手の悪さは利用者から批判が続出しており、対応が必要です。

反対議員（2人）  
本木勝利議員  
佐竹典明議員